

- ALPS処理水の処分に必要な設備の設計等の検討・対応を進めるなかで、厳格な放射能濃度の測定・評価に必要な設備として、K4タンク群（約3万 $m^3$ ）の用途を変更・活用し、測定・評価用の設備を新たに構築することとしています。
- K4タンク群の用途変更に伴い、ALPS処理水等とストロンチウム処理水（ALPS処理前水）の保管容量（計約137万 $m^3$ ）が減少することから、G4北エリアおよびG5エリアに、ALPS処理水等を保管する溶接型タンク（約3.1万 $m^3$ ）を建設してまいります。

<2021年5月27日 お知らせ済み>

- このたび、タンク建設に向けた準備が整ったことから、G4北エリアは7月29日、G5エリアは8月2日(予定)から、現地でのタンク設置作業を開始します。
- 安全最優先で作業を進めてまいります。



